

文教厚生委員会行政視察報告

福岡県大牟田市

【人口】 126,513人 【面積】 81.55 km² 【一般会計】 525.2 億円

視察事項「大牟田市食育推進計画『健やか住みよか食育プラン』について」

「食」を通じて、健康の維持・増進、地域文化の伝承、道徳心やコミュニティの醸成など、本市における食育に関する施策の参考とするため、大牟田市の食育推進計画「健やか住みよか食育プラン」について視察を行った。

・計画策定の背景

全国の10万人以上の市で第2位の29.1%（平成21年4月1日現在）の高齢化率である大牟田市は、少子高齢化が顕著で、特に「子ども世代」と「高齢者世代」について、緊急性の高い事業として健康づくり推進計画「ウエルネスおおむた21」を策定し、食育についても同計画に明記された。大牟田市食育推進計画「健やか住みよか食育プラン」は、「健康」をキーワードとして「ウエルネスおおむた21」をはじめ、教育施策大綱や高齢者保健福祉計画など7つの各種計画・大綱との整合を図りながら平成22年3月に策定された。

・計画の概要

(1) 基本理念、目指す食育像

基本理念：「食を通じた健やか、生き生き、共生のまち おおむた」

目指す食育像：「食を通じた安心・安全、健康づくり」 保健福祉

「食を通じた人づくり、モノづくり、地域づくり」 教育・産業経済

「食を通じた共生」 環境

保健福祉、教育・産業経済、環境の3つの視点から目指す食育像を設定し、保健福祉部、産業経済部、環境部、教育委員会の4部局合同による食育推進委員会を設置。

(2) 計画期間 平成22年度から平成26年度までの5年間

・主な取り組み

(1) 市内事業所との連携の下、独身男性や単身赴任者等を対象とした「健幸料理教室」

(2) 児童・生徒を対象とした農業体験、収穫体験

(3) おおむた健康づくり応援レシピ集の作成

(4) 市役所におけるメタボ対策「大牟田ウエストサイズストーリー」の実施

「大牟田ウエストサイズストーリー」は、大牟田市長自らが実践し、食事メニューや摂取カロリー、運動の量や内容、体重等を毎日記録し、その効果が顕著に現れているとのことであった。市長自身の実践により市職員にも波及し、取り組む職員も徐々に増えているとのことであった。

・委員の感想

食を通じた市民協働として、緊急雇用創出制度を活用



した食育ボランティアの設置は、双方の事業の推進が図られ、良いことであると思った。大牟田市の食育推進計画は、大変中身が濃いと思った。

「大牟田ウエストサイズストーリー」は、本市では考えられない企画であるが、この種の洒落も行政に必要ではないかと感じた。

4部局による合同プロジェクトはさまざまな苦労があると思うが、市民から見れば当たり前のことであり、本市においても積極的に取り組むべきと感じた。

地域の食材を活用するメニューの市民へのアピールは、地産地消の具体的施策として評価できる。

環境と食育をテーマにしたイベントが大変良いと思った。大量消費、大量廃棄のライフスタイルの見直し、循環型社会の構築を進めるためのごみ減量の取り組み、資源を大切にすると講演、体験学習等、市民啓発を繰り返し行い、官の力ではなく民の力でイベントが行える社会になると大変良いと思った。

一つの事業に取り組み、推進する上において、関係する部局が積極的に連携し事業を行う姿勢は、非常に参考になり、本市でもすべての事業において実施すべきである。

食育の体制づくりにおいて横の連係がしっかり取られ、本市の取り組みの参考になる。

下関市と同様、歯科医師会が食育に取り組まれていた歴史があり、その基盤に乗って大牟田市も推進しているが、本市ではどうなのか？と思った。

ウエストサイズストーリーの取り組みは、本市でもやってみたらいかがかと思った。